



国立西洋美術館 アクティビティブックの使い方



この冊子には、一人一人が楽しく作品を見るための活動（アクティビティ）がのっています。冊子と鉛筆をもって展示室をまわり、気になる作品について書き込みながら鑑賞することができます。美術館に慣れていない児童生徒も楽しさをイメージできるように、イラストページから始まります。

美術館に来る前に

- ①来館前にイラストページを印刷して教室に掲示してください。美術館でどのようなことができるのか、どんなマナーが必要なのか、児童生徒がイメージしてから来館することができます。
- ②美術館に来る前に、当日取り組むアクティビティを1、2個選んでください。

アクティビティの選び方

来館のめあてや、児童生徒の様子によって以下のようにアクティビティをおすすめします。

| 児童生徒の様子、 来館のめあて | おすすめアクティビティ | 効果など |
|-----------------------------|----------------|--|
| 作品をよく見てほしい 美術館や鑑賞に慣れていない | じっくりメモ | 作品をよく見ることで、様々な気付きを得る練習になり、同じ作品について他の活動を行うこともできます。 |
| 絵を描くのが好き | スケッチ | 描きながら、作品を細部までよく見ることができます。発見や疑問を文字で書き込むなど自由に使えます。 |
| 建築を見せたい | 好きな眺め／気になるポイント | 世界文化遺産に登録された前庭と本館の特徴に気づくことにつながります。絵と文字のどちらでも書き込むことができます。建築のパンフレットをウェブサイトからダウンロードして予習復習にも使うこともできます。 |
| 彫刻を見せたい | ぐるっとまわって 360° | 立体作品ならではの楽しさを感じることができます。彫刻の展示は、前庭の他、本館1階、新館1階に多くあります。 |
| 自分なりに鑑賞させたい／想像力を養いたい | オリジナルストーリー | スケッチをすることで作品をよく見た後に、見たことから発想して物語を作ります。自分なりの作品解釈を促すので、見る人の数だけ物語が生まれます。 |
| 表現の授業に生かしたい | 作家ヘインタビュー | 制作者の表現の意図を想像しながら作品を見ます。 |

当日から帰校後

- ・鉛筆、ボードをお持ちください。展示室で消しゴムは使用できません。
- ・帰校後に「美術館の楽しみカード」とアンケートのご送付をお願いいたします。

